

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【公開番号】特開2014-50249(P2014-50249A)

【公開日】平成26年3月17日(2014.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-014

【出願番号】特願2012-192113(P2012-192113)

【国際特許分類】

H 02M 3/28 (2006.01)

B 81B 3/00 (2006.01)

【F I】

H 02M 3/28 Y

B 81B 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成26年11月17日(2014.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【図1】本発明を説明する前の前提的基礎技術として、ヒンジ機構を備えた静電型変換装置を示す平面図である。

【図2】図1におけるヒンジの構造を示す説明図である。

【図3】図1におけるヒンジの回動状態を示す説明図である。

【図4】本発明を説明する前の前提的基礎技術として、図1とは異なるヒンジ機構を備えた静電型変換装置を示す平面図である。

【図5】図4におけるヒンジの構造を示す説明図である。

【図6】図4におけるヒンジの回動状態を示す説明図である。

【図7】本発明に係る実施の形態1として構成した静電誘導型変換装置を示す平面図である。

【図8】図7に示した静電誘導型変換装置の駆動点行列によって導かれる電気等価回路を示す図である。

【図9】図7に示した静電誘導型変換装置のS P I C E等価回路を示す図である。

【図10】S P I C E等価回路を用いたシミュレーションの結果を示す図である。

【図11】実施の形態1により構成したZ方向振動型櫛歯静電トランスを示す図である。

【図12】実施の形態1により構成したY方向振動型櫛歯静電トランスを示す図である。

【図13】本発明に係る実施の形態2として構成したD C - D Cコンバータを示す回路図である。

【図14】図13の回路図をより詳細に示した回路図である。

【図15】D C - D Cコンバータに含まれる自励発振回路の動作原理を示した回路図である。

【図16】可動部材の中間部にヒンジを設けた変形例1を示す図である。

【図17】可動部材の中間部にヒンジを設けた変形例2を示す図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

図12は、Y軸方向に櫛歯が回動するY方向振動型櫛歯静電トランスを示す図である。基本的な動作原理は、図11のZ方向振動型櫛歯静電トランスと同じであるので、説明は省略する。